

秋田県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 3 名

立候補者数 : 3 名



氏名 菅原 慶勇

都道府県士会 秋田県

年齢 53

勤務先名称 市立秋田総合病院



氏名 須藤 恵理子

都道府県士会 秋田県

年齢 52

勤務先名称 秋田県立リハビリテーション精神医療センター

協会・士会役員歴

平成4年度～7年度 秋田県理学療法士会福祉部長兼理事
 平成5年～10年 東北ブロック協議会事務局担当
 平成6年 理学療法の日パイロット事業準備委員長
 平成8年度～11年度 秋田県理学療法士会社会局福祉部長
 平成12年度～22年度 秋田県理学療法士会理事（社会局、事務局整備検討委員会、
 県北中央県南ブロック担当、スポーツ理学療法委員会、表彰者選考委員会を歴任）
 平成15年度～17年度 日本理学療法士協会福利厚生部員
 平成23年度 （社）秋田県理学療法士会理事（副会長兼事務局長）
 平成24年度～28年6月 （公社）秋田県理学療法士会理事（副会長、事務局、地域包
 括ケアシステム推進委員長を歴任）
 平成26年～現在 （公社）日本理学療法士協会代議員
 平成28年6月～現在 （公社）秋田県理学療法士会代表理事
 平成28年11月 第34回東北理学療法学会 大会長
 平成29年6月～現在 （公社）日本理学療法士協会課題解決型高度医療人材育成検討
 委員会委員
 平成29年6月～現在 （公社）日本理学療法士協会会員制度検討委員会委員

立候補の趣旨

理学療法士は、何を期待されどのような役割を果たしていくことが必要なかを常に考
 え、本会のために有益な事業展開への協力と時機を逸することのない情報発信を行って
 いきたいと考えています。特に、超高齢社会の秋田では、今後地域医療への取り組みが
 ますます重要視され、予防理学療法に対する関心も高まるであろうと考えています。「健康
 長寿日本」の県スローガンに答えるべく、本会と県士会のパイプをしっかりと繋いで、こ
 れまで培った知識と技術を誠心誠意、理学療法発展のために注ぎたいと思います。

協会・士会役員歴

H6～9年度 秋田県士会学術局教育部長
 H10～13年度 秋田県士会事務局ニュース編集部長
 H14～17年度 秋田県士会学術局研修部長
 H18～23年度 秋田県士会 学術局長
 H24～27年度 秋田県士会理事 財務部長
 H28～29年度 秋田県士会副会長 事務局長

立候補の趣旨

長年にわたり、秋田県理学療法士会の学術局や事務局の活動を行ってきました。
 県士会の事務局長に就任したことにより、日本理学療法士協会の動向や見解を理解し、
 理学療法士の進むべき方向性について議論できる立場に就きたいと考えました。
 協会と県士会のパイプ役として機能するだけでなく、今後の理学療法の発展に少しでも
 貢献できるよう努力したいと思います。



氏名 畠山 和利

都道府県士会 秋田県

年齢 46

勤務先名称 秋田大学医学部附属病院

協会・士会役員歴

平成 21年度	東北ブロック協議会学術局員
平成 24, 25年度	東北ブロック協議会あり方検討委員
平成 28年	東北ブロック協議会機関誌編集部長
平成 14～18年度	東北理学療法学術大会準備委員長
平成 19～23年度	公社) 秋田県理学療法士会機関誌編集部長
平成 24年度～	公社) 秋田県理学療法士会研修部長
平成 28年度～	公社) 秋田県理学療法士会理事 (現在)
	公社) 秋田県理学療法士会副会長 (現在)

立候補の趣旨

地域包括ケアシステムが叫ばれる今日、理学療法に求められる役割も多岐にわたってきました。私たちには理学療法という専門性を活かし、実行力を示すことが求められています。理学療法は、運動機能面だけでなく多方面で患者を支え、共感し合うことができる職業です。われわれの根底にある「何とかしてあげたい」との想いを、自信と自覚をもって治療や指導に活かす臨床力が必要です。他職種連携や地域貢献へ繋げるためにも人材育成こそが非常に重要であると考えています。

今まで培った活動を活かし人材育成はもとより、会員に有益な付加価値を高められるよう真摯に取り組みたいと思います。秋田県理学療法士会会員の声を協会に届けることができるよう各種課題に取り組んでまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。